

働きやすい職場づくり

意識を変え、 機会を増やし、 社員力を さらに引き出す



船の安全を管理するためのシステムを構築している小西船長（写真右）と射手一等機関士（写真中央）。

会社の姿勢

働きやすい職場づくり

当社は、多様な人材の活躍を推進する取組みの一環として「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」（女性活躍推進法）に向けた行動計画を策定しました。

近年、当社は、グローバルな総合物流企業として、国内外での事業展開を主導できる人材を性別に関係なく育成、登用し、従来総合職と一般職に分かれていた人事制度を2001年に一本化するなど、環境の整備を進め、管理職に占める女性の割合は16%に達しました。

当社社員にとって海外での勤務を通じ「包容力と柔軟性、リーダーシップ、マネジメント能力」を磨くことは、キャリアパスの重要な要素です。海上陸上の隔てなくグローバルなフィールドで活躍する人材の育成をしていくために、性別を問わず海外で安心して勤務できる機会を更に創出していくべく、行動計画を策定し、多様な人材の活躍を推進する取組みを今後も充実させていきます。

社内環境

女性活躍推進

2002年には、都心で初めての企業内保育所「郵船チャイルド・ケア丸の内保育室」を設置し、待機児童問題に心配することなく社員が働ける環境を整え、また、キャリアプランに合わせた復職が可能となりました。

それ以外にも、法定を超えた育児・介護休業、フレックスタイム制度、短時間勤務制度など、社員が仕事と私生活とのバランスを取りながら、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できるような仕組みづくりを進めています。

また、多様な人材の活躍を推進する取組みの一環として、女性の海外勤務経験者の延べ人数を2021年3月末までに80人以上とする目標値を設定しました。グローバルなフィールドで活躍する人材の育成のために、性別を問わず海外で安心して勤務できる機会をさらに創出していく取組みを今後も充実させていきます。



子育てサポート企業として厚生労働大臣の認定「くるみん認定」を取得しました。当社の認定取得は2007年、2011年および2015年に続いて4回連続となりました。



射手一等機関士「海上勤務は乗船から下船までおよそ4カ月の間、帰宅できませんが、入港時に家族が船に会いに来てくれます。手紙を書いてくれたり、いっぱいお話をしてくれたり、乗船中でも、こどもの成長を感じられます。」

取り組んでいる会社の概要

日本郵船株式会社

代表者：内藤 忠顕（代表取締役社長）
所在地：東京都千代田区丸の内二丁目3番2号
資本金：1443億円
事業内容：一般貨物輸送事業、不定期専用船事業、
その他事業
従業員数：37,820名
（平成30年3月時点）